

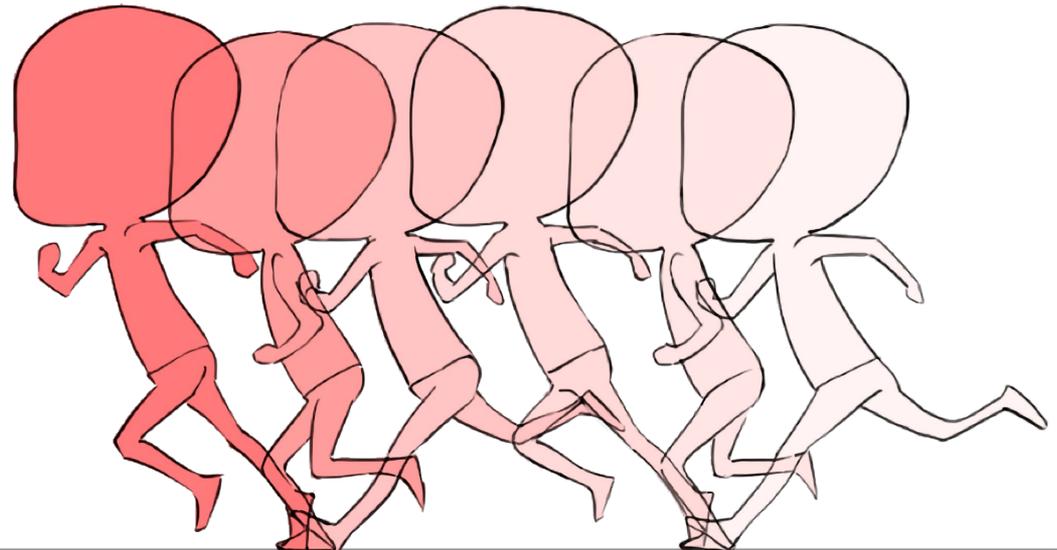
うごきをけんきゅう！

アニメーションをつくろう！

アニメーションはテレビアニメや、CM(コマーシャル)、おんがくのMV(ミュージックビデオ)など、さまざまなところにつかわれています。そんなアニメーションをつくるひとを「アニメーター」とよびます。アニメーションをつくるのはとてもたいへんですが、じぶんのえをうごかすのはとってもたのしいですよ。こんかいは、アニメーターになったつもりで、いろいろなうごきをつくってみましょう。

【今月のかだい】

- ・アニメーションのきほんをまなぼう
- ・ひょうじょうのうごきをかいてみよう
- ・からだのうごきをかいてみよう
- ・オリジナルのうごきをかいてみよう



STEP1 アニメーションのきほんをまなぼう

アニメーションとは

えが たましいをもったようにうごくことから、たましいといういみの「**アニマ**」ということばから「**アニメーション**」ということばができました。

「アニメーション」とは、えに **いのちをふきこむこと**なのです。



アニメーションのきほんをまなぼう

えがうごいてみえるしくみ

あなたはノートのすみに、えをかいて「パラパラマンガ」をつくったことはありますか？

やったことがないひとは、ぜひやってみてください。かんたんに「アニメーション」をつくることができますよ。

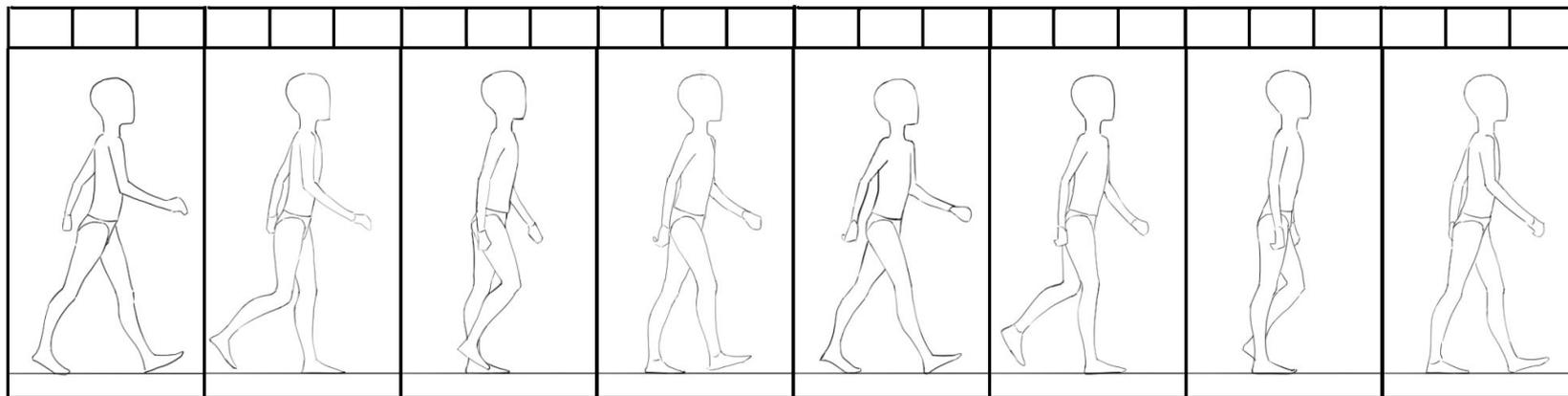
デジタルになっても「しくみ」はおなじです。

「え」を「れんぞくでひょうじ」することで、「え」がうごいているように かんじます。

にほんのアニメでは、1びょうかに 8まいくらいの「え」をつかうことがおおいです。

0びょう

1びょう



アニメーションのきほんをまなぼう

アニメのつくりかた

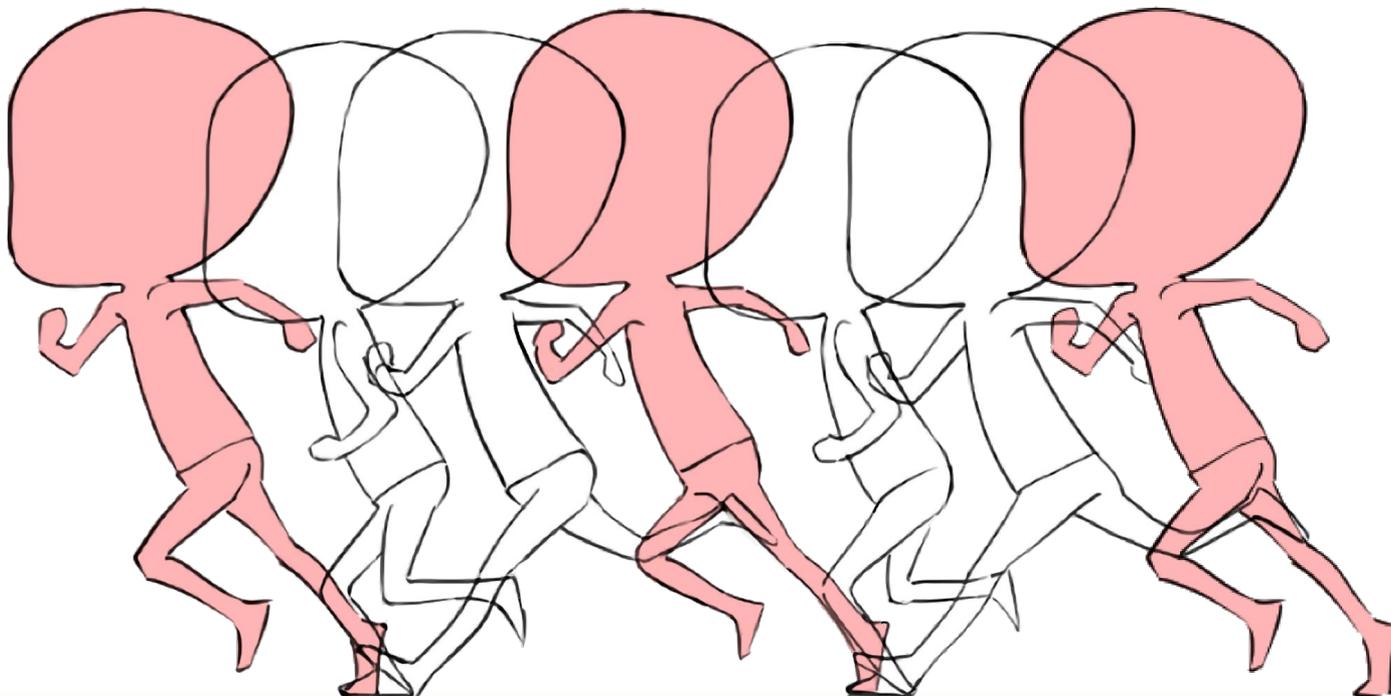
アニメをつくる時、まず はじめにうごきのポイントとなるところに「え」をかきます。

この「え」のことを「**げんが**」とよびます。

つぎに、「げんが」と「げんが」のあいだのうごきの「え」をかいていきます。

この「え」のことを「**なかわり**」とよびます。

「**げんが**」と、「**なかわり**」のえを「れんぞくでひょうじ」すると、えがうごいてみえます。

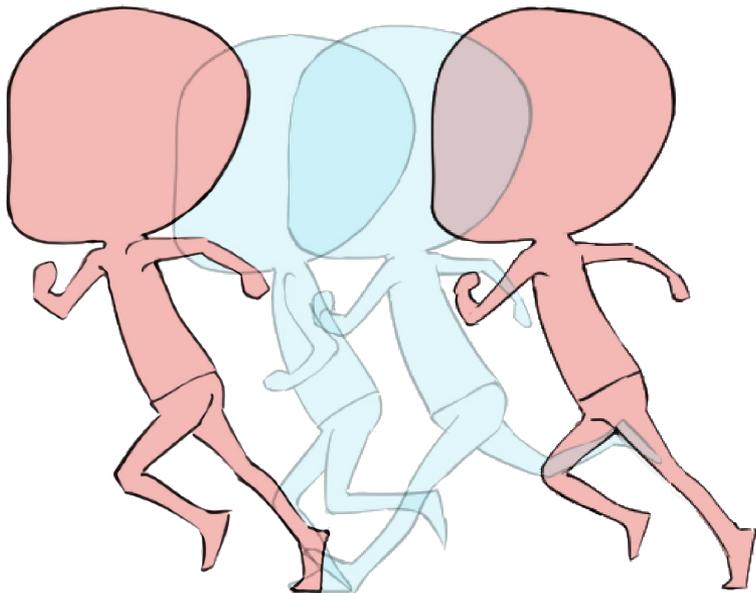


アニメーションのきほんをまなぼう

アニメのつくりかた

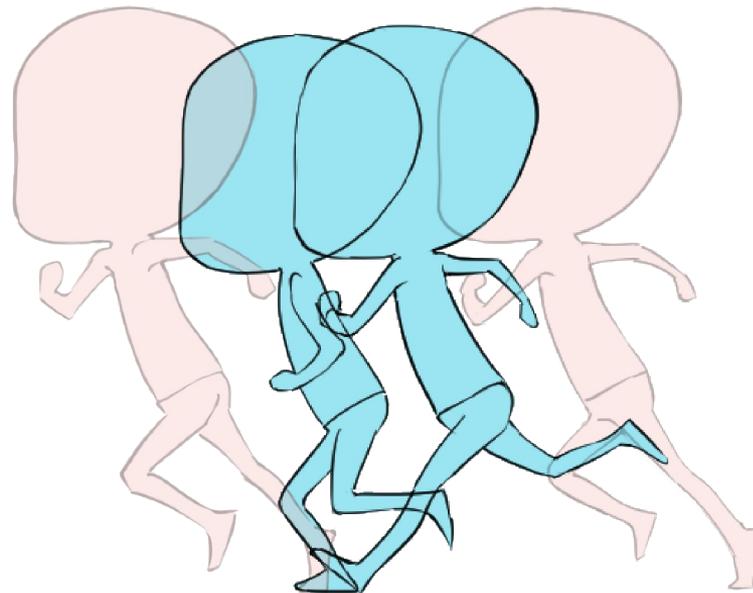
①げんが

うごきのポイントとなる場所に「え」をかきます。これが「**げんが**」です。



②なかわり

げんがをかいたら、げんがのあいだのうごきの「え」をかきます。これが「**なかわり**」です。



…げんが

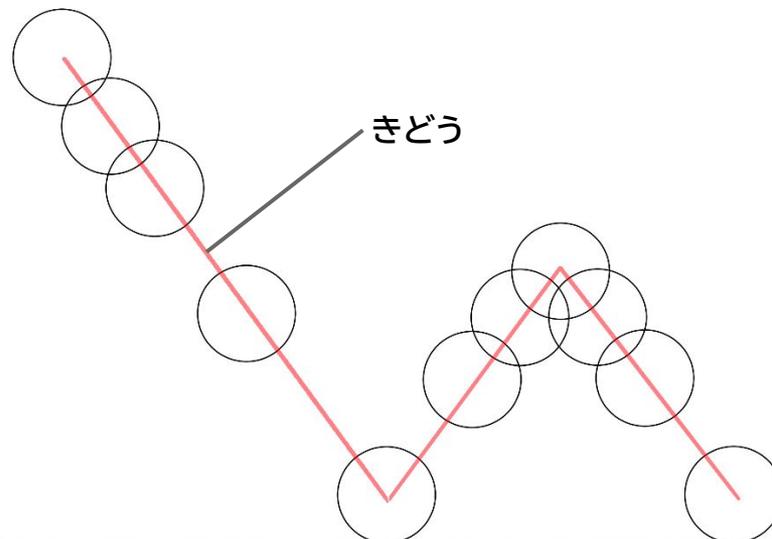
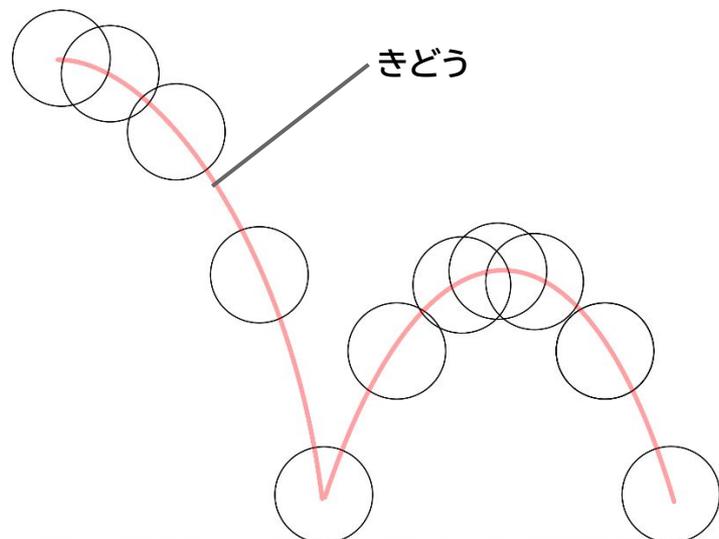
…なかわり

アニメーションのきほんをまなぼう

きどう

「きどう」とは、「もの」がどうするときにとおるみちすじのことです。

「アニメーション」をつくるときは、「きどう」を かんがえましょう。

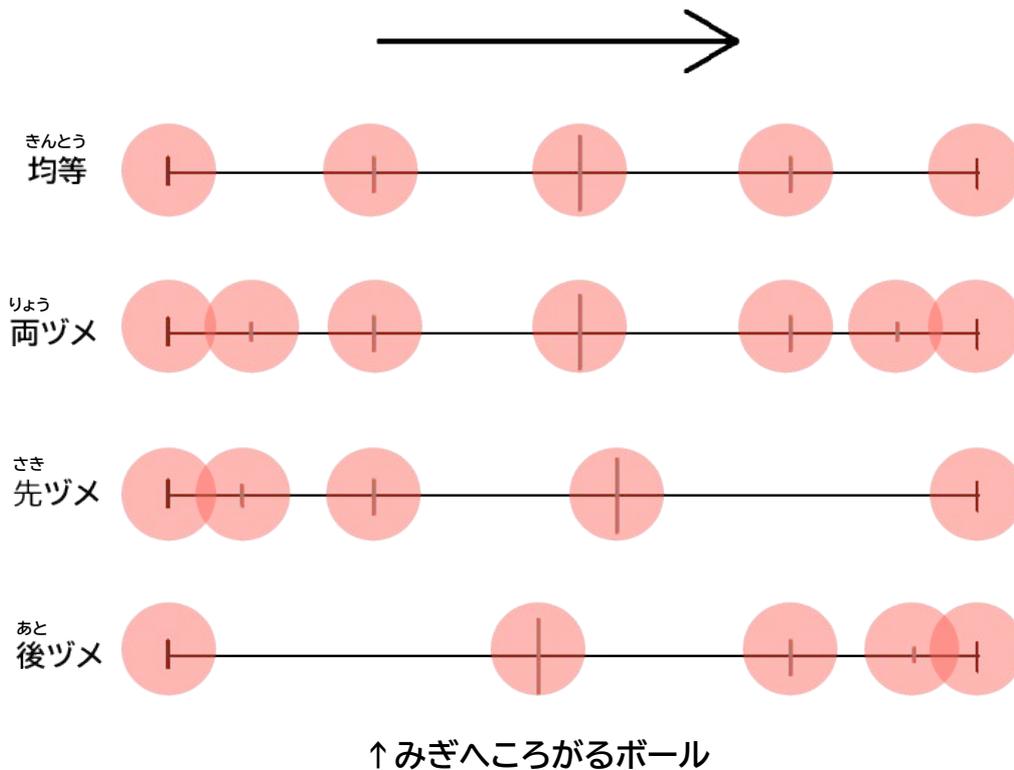


どっちがしぜんな「きどう」かな？

ツメ

おなじ ボールでも、ころがしたとき、
なげたとき、おとしたときで
まったくうごきがちがいます。
そういったうごきのちがいをひょうげ
んするのが「ツメ」です。
「ツメ」かたによって、いろいろなアニ
メーションひょうげんができます。

たとえば
「先ツメ」をもちいれば「かそく」
「後ツメ」をもちいれば「げんそく」
を ひょうげん することができます。

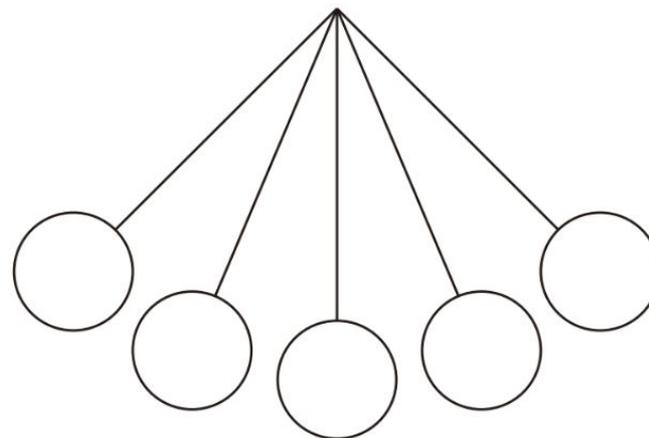
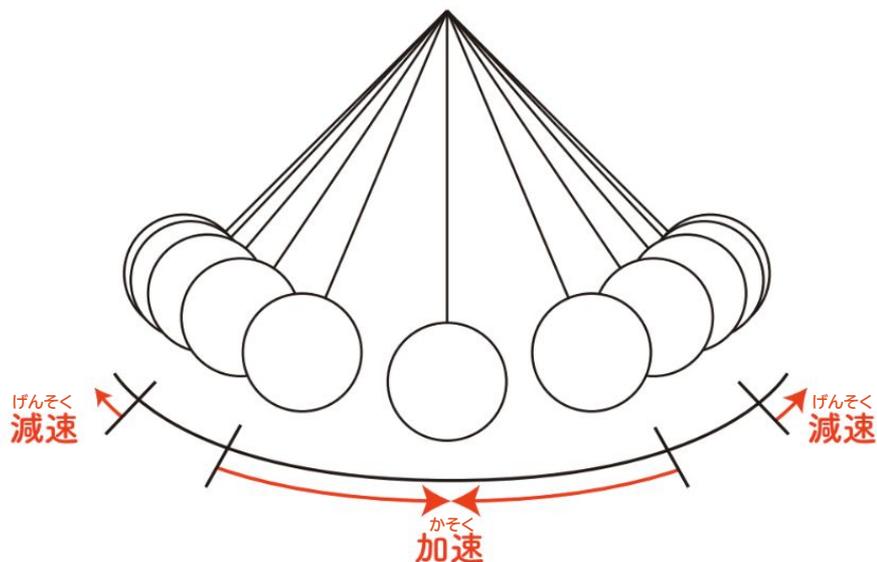


アニメーションのきほんをまなぼう

ツメ

したのふりこのえは、ちがう「ツメ」でかかれています。

「ツメ」によってリアルな「うごき」をひょうげんすることができます。



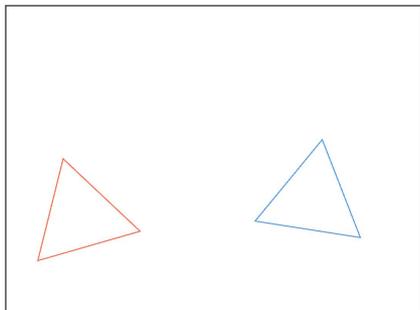
どっちがふりこらしく ひょうげんできているかな？

アニメーションのきほんをまなぼう

なかわりのつくりかた

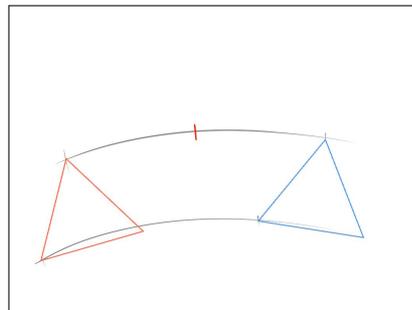
ステップ1

2まいの「え」をコピーしてひょうじしよう



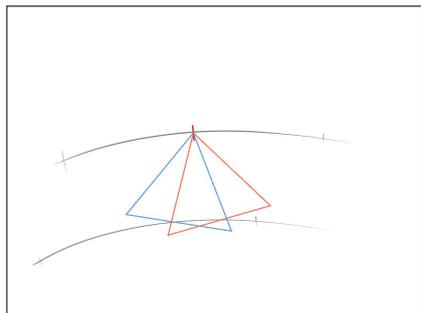
ステップ2

うごきの「きどう」をかいて
まんなかに「しるし」をかこう



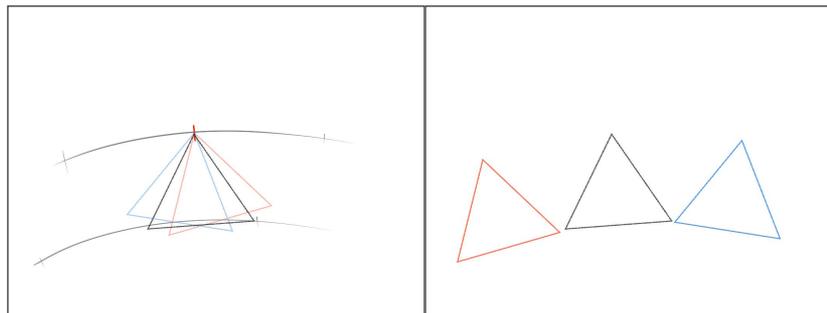
ステップ3

ステップ2でかいた「しるし」に「え」をかさねよう



ステップ4

ステップ3でいどうした「え」をつかって
あいだの「え」をかこう



STEP2 ひょうじょうのうごきをかいてみよう

まばたき

「まばたき」のひょうげんをしてみましょう。

ひらいた「め」のえを「あきめ」

とじためのえを「とじめ」

「あきめ」と「とじめ」のあいだのえを

「なかめ」とよびます。

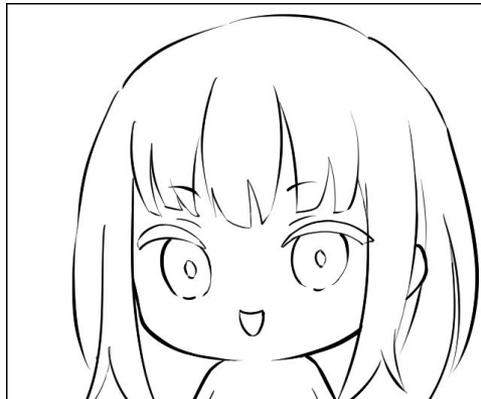
まばたきのような「め」だけがうごくアニメーションでは、うごかないところはつかいまわします。

まばたきをさいせいするときは、

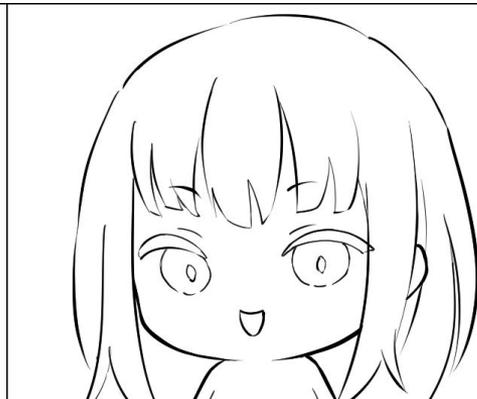
「あきめ」→「とじめ」→「なかめ」→「あきめ」

のじゅんでひょうじしましょう。

①(あきめ)



②(なかめ)



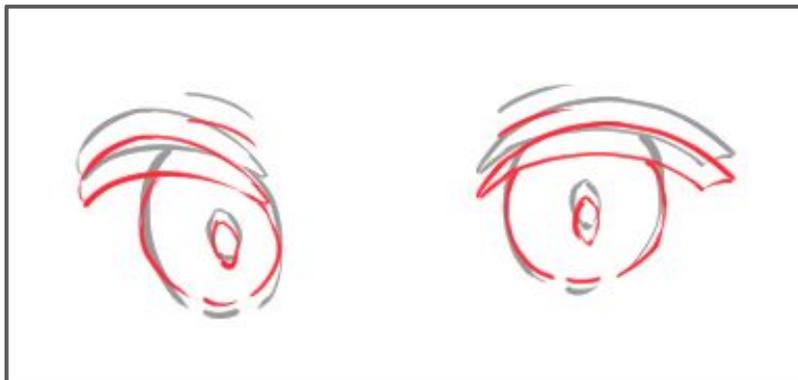
③(とじめ)



ひょうじょうのうごきをかいてみよう

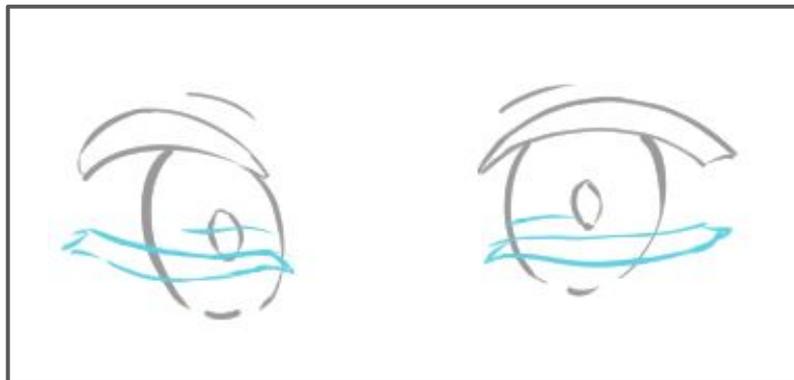
まばたきのポイント

なかめ



「なかめ」は、「あきめ」によせてつくとよいです。

とじめ



「とじめ」は、したまぶたよりもすこし「うえ」につくりましょう。

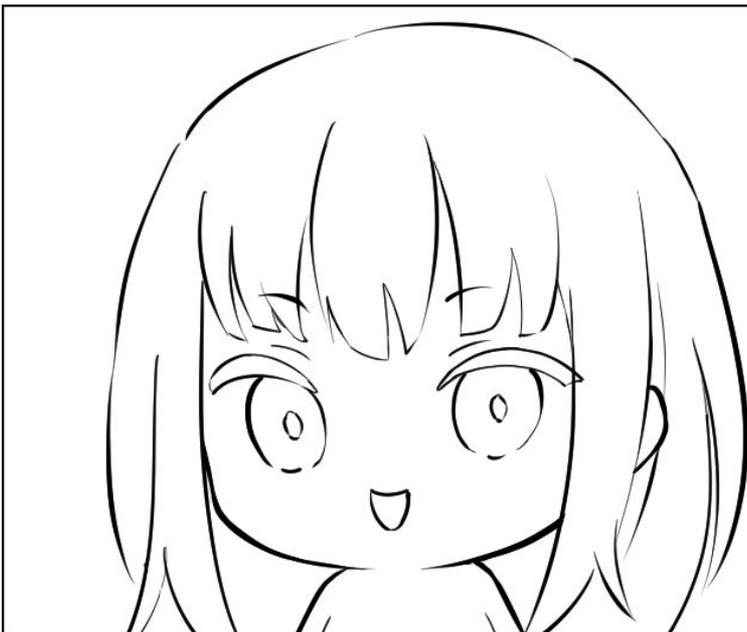
ひょうじょうのうごきをかいてみよう

まばたきをかいてみましょう

①と③のあいだに1まいの「え」をつかって、まばたきのアニメーションをかいてみましょう。

オリジナルのキャラクターをかいてみるもいいですね。

①(あきめ)



③(とじめ)



ひょうじょうのうごきをかいてみよう

さまざまなひょうじょうのさくが

いきいきとうごく「キャラクター」ができあがっていく「ひょうじょう」のアニメーションづくりは
とてもたのしいさぎょうです。

ここではさまざまな「ひょうじょう」をかいてみましょう。

わらう

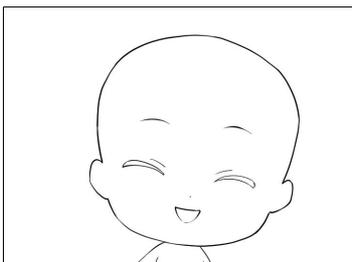
①

②(めをとじる あたまをかたむける)

③



ポイント



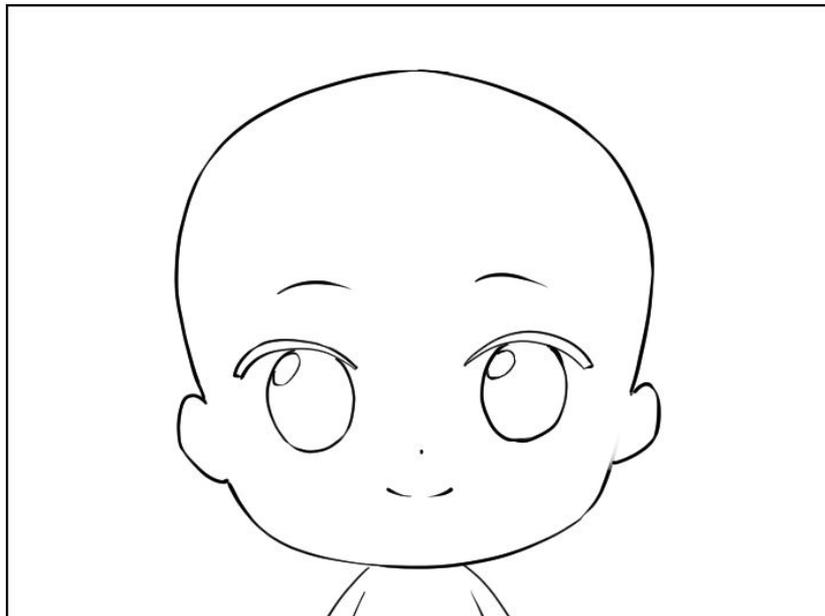
くちを「**ぎゃくさんかくけい**」
をイメージして「ひらく」と
わらったひょうじょうになり
ます。

ひょうじょうのうごきをかいてみよう

わらうアニメーションをかいてみましょう

①と③のあいだに1まいの「え」をつかって、わらうアニメーションをかいてみましょう。
オリジナルのキャラクターをかいてみるもいいですね。

①



③



ひょうじょうのうごきをかいてみよう

なく

「なく」ひょうじょうは、「まゆ」を「八のじ」にして「くち」
をゆがませたり「さんかくけい」にしたりしましょう。

①



②

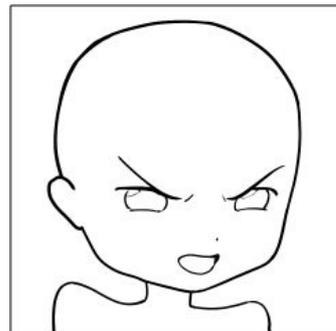
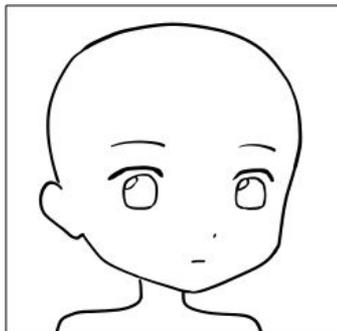


③



ポイント

「かお」だけでなく、「からだ」もうごかすと
「きもち」がよりつたわります。

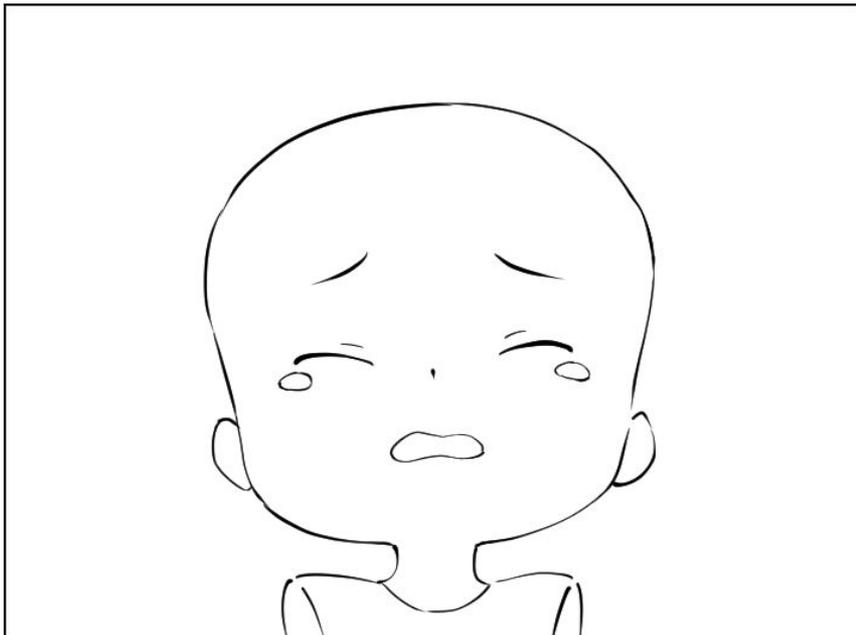


ひょうじょうのうごきをかいてみよう

なくアニメーションをかいてみましょう

①と③のあいだに「え」をつかって、「なく」アニメーションをかいてみましょう。
オリジナルのキャラクターをかいてみるもいいですね。

①



③



STEP3 からだのうごきをかいてみよう

はしりループ

ループとは、くりかえしのことです。

ループする「はしり」のアニメーションのつくりかたをまなぼう。

①(げんが)

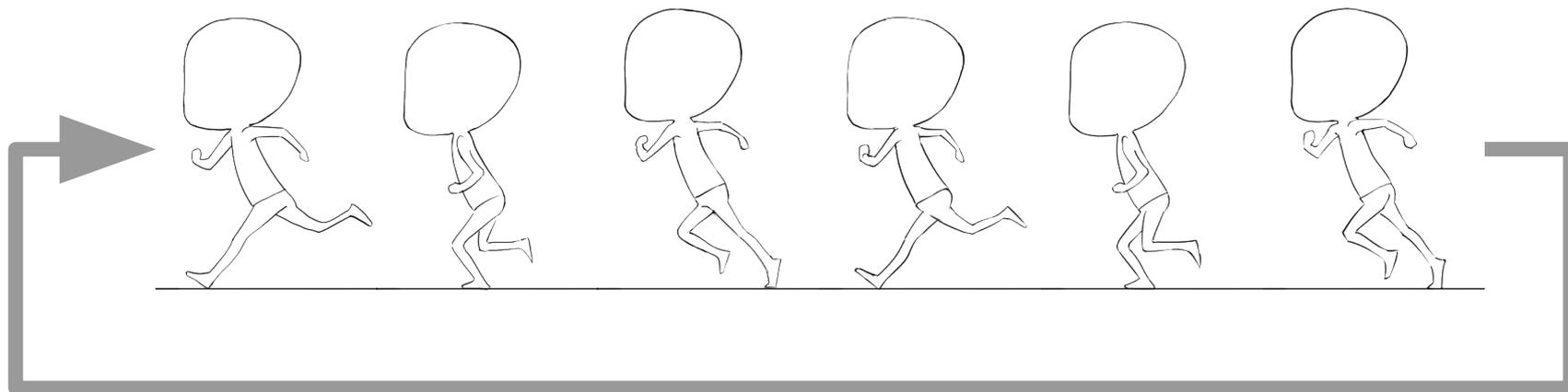
②(なかわり)

③(なかわり)

④(げんが)

⑤(なかわり)

⑥(なかわり)



①に戻る

からだのうごきをかいてみよう

はしりのポイント

「はしり」のアニメのそれぞれの「え」のポーズについてかんがえてみよう。

①(ちゃくち)

あたまのたかさは

まんなかくらいです。

②(しずみこみ)

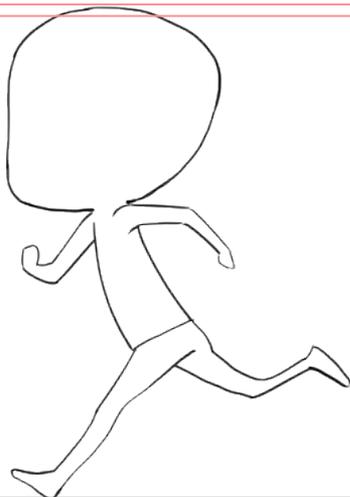
あたまのたかさは

いちばんひくいです。

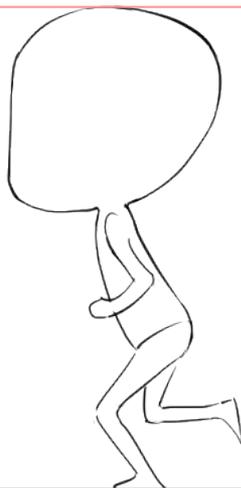
③(ふみだし)

あたまのたかさは

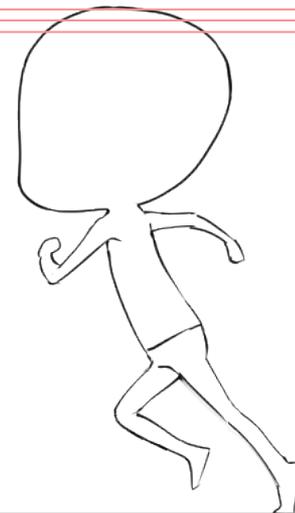
いちばんたかいです。



まえあしがじめんに「ちゃくち」
するしゅんかんの「え」です。



この「え」は、ヒザをまげ、
つぎにふみだすために
「ちからをためている」
ポーズです。

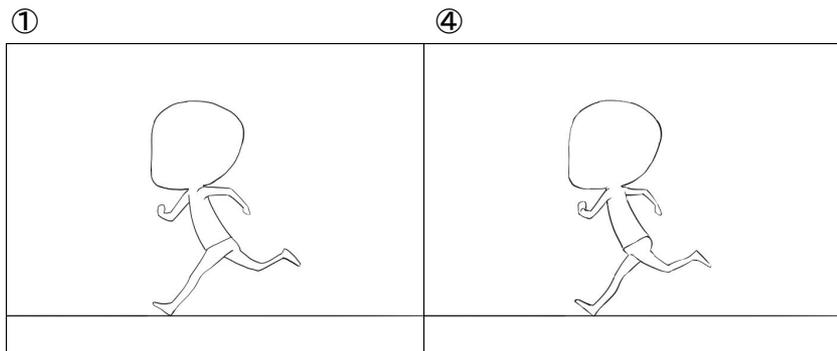


この「え」は、まえのポーズで
「ためたちから」を「かいほう」
してふみだしているポーズです。

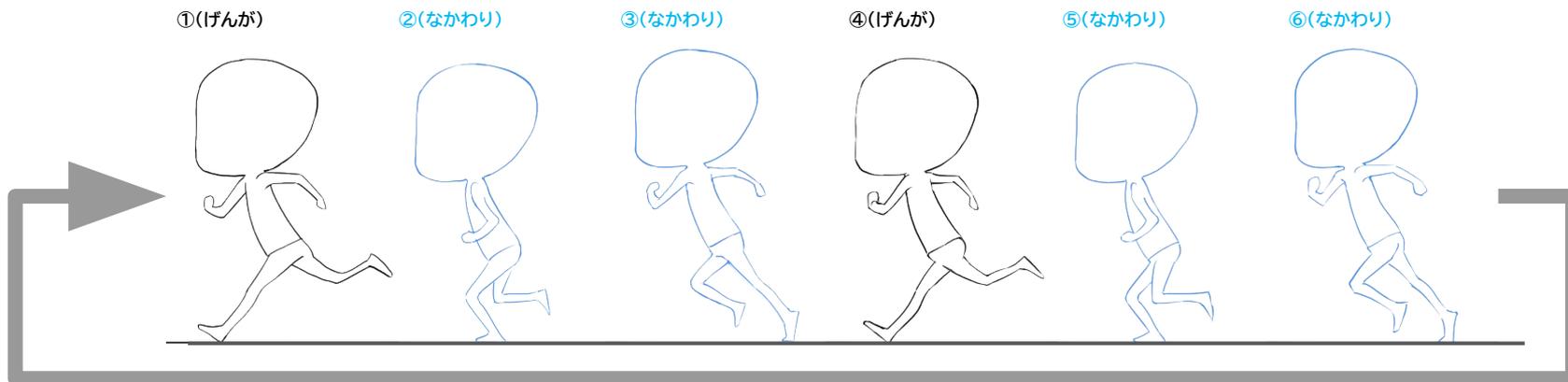
からだのうごきをかいてみよう

はしりのアニメーションをかいてみましょう

①と④のあいだに
「え」をつかって
「はしり」のさくがを
してみましょう。



②、③、⑤、⑥の「なかわり」をつくと「ループ」させることができます。



①に戻る

からだのうごきをかいてみよう

なびきループ

「かぜ」などによって、「かみのけ」や「ぬの」などがうごくことを、「なびき」とよびます。

①げんが

②なかわり

③なかわり

④げんが

⑤なかわり



ポイント

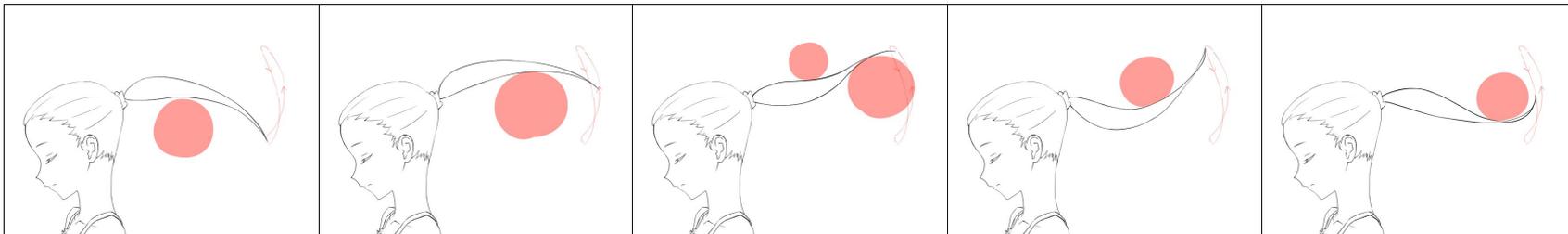
①げんが

②なかわり

③なかわり

④げんが

⑤なかわり

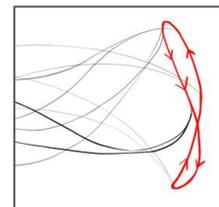


くうきのながれをいしき

うえの「あかいまる」のような、「くうきのかたまり」が
いどうしているのをイメージしてみましょう。

きどう

かみのけの はしが
「8のじ」をえがきます



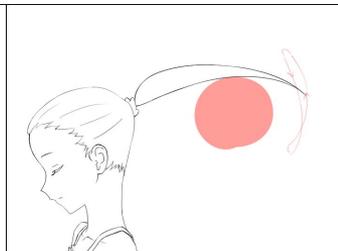
からだのうごきをかいてみよう

なびき

①げんが



②なかわり



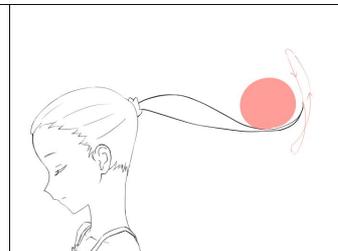
③なかわり



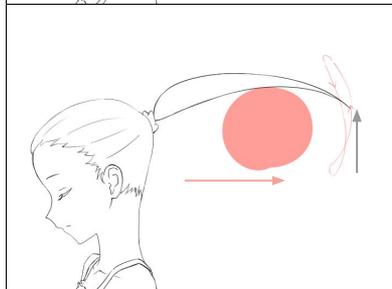
④げんが



⑤なかわり



「くうきのかたまり」
におされて かみのけ
がもちあがります。



あたらしい
「くうきのかたまり」
があらわれます。



したがわの
「くうきのかたまり」
がはなれて けさきの
むきがかわります。

からだのうごきをかいてみよう

なびきのアニメーションをかいてみましょう

①と④のあいだに「え」をつかって「なびき」のさくがをしてみましょう。

①げんが

④げんが



②、③、⑤の「なかわり」をつくと「ループ」させることができます。

①げんが

②なかわり

③なかわり

④げんが

⑤なかわり



①に戻る

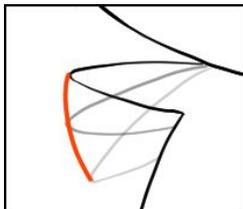
STEP5 オリジナルのうごきをかいてみよう

これまでにまなんだことをふまえて、オリジナルのうごきをかいてみましょう。
STEP4までにでてきたうごきを アレンジしてみても いいですね。

うごきの れい(うでをふる)



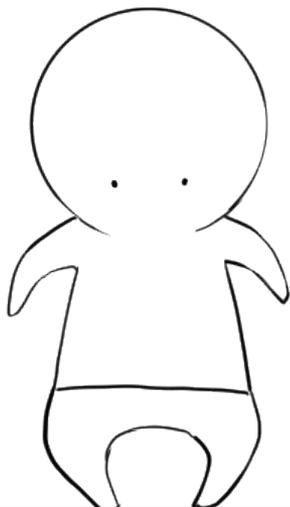
ポイント



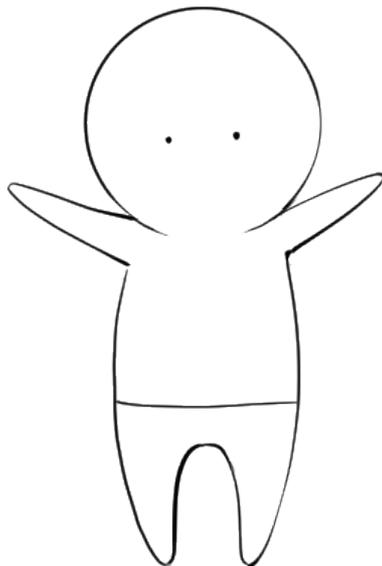
うでのきどうは、ふりこのように きょくせんをえがきます。

オリジナルのうごきをかいてみよう
うごきのれい(ジャンプ)

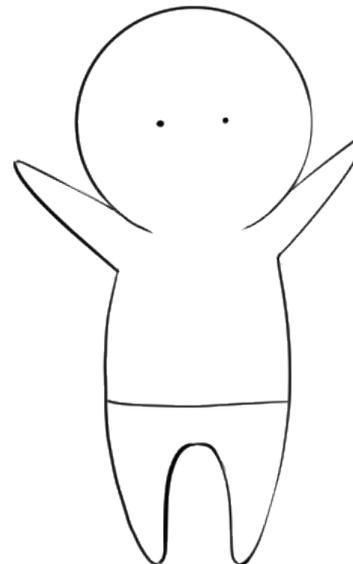
①



②

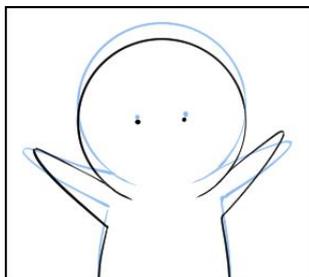


③



ポイント

②から③におちていくときに、
うでをくうちゅうにのこす。



①まばたき

「なかめ」をつかって「まばたき」のアニメーションをつくってみよう。

①(あきめ)



②(なかめ)



③(とじめ)



※あたらしい「レイヤー」をつかって、うえからなぞりがきしてね

②わらう

あたま とめ をうごかして、「まばたき」のアニメーションをつくってみよう。

①



②(めをとじる あたまをかたむける)



③



※あたらしい「レイヤー」をつかって、うえからなぞりがきしてね

④はしり

なかわり をつくって、はしるアニメーションをかんせいさせよう。

①(げんが)

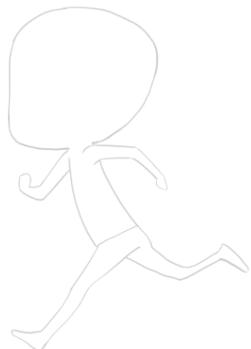
②(なかわり)

③(なかわり)

④(げんが)

⑤(なかわり)

⑥(なかわり)



※あたらしい「レイヤー」をつかって、うえからなぞりがきしてね

⑤ なびき

なかわり をつくって、なびき の アニメーションをかんせいさせよう。

①げんが

②なかわり

③なかわり

④げんが

⑤なかわり



※あたらしい「レイヤー」をつかって、うえからなぞりがきしてね

⑥うでをふる

うでをうごかして、うでをふるアニメーションをかんせいさせよう。

①



②



③



※あたらしい「レイヤー」をつかって、うえからなぞりがきしてね

⑦ ジャンプ

ジャンプするアニメーションをつくってみよう。

①



②



③



※あたらしい「レイヤー」をつかって、うえからなぞりがきしてね

⑧オリジナル

オリジナルのアニメーションをつくってみよう。

じぶんでうごいてみたり 動かをみたりして、うごきをかくにんしましょう。

--	--	--	--

※あたらしい「レイヤー」をつくって、うえからなぞりがきしてね